

財団法人 第一住宅建設協会

THE DAI-ICHI HOUSING RESEARCH&ADVANCEMENT FOUNDATION

財団について

情報公開

機関誌「City&Life」
のご案内

調査研究募集要項

調査研究報告書

調査研究募集要項

平成22年度研究助成募集要項

平成22年9月

1. 趣旨

住生活の改善向上をはかるための研究について助成し、併せて若手研究者の育成および学術研究の発展に寄与することを目的とします。

助成は「一般研究」、および若手研究者向けの「奨励研究」の2種類に分けて行います。

2. 対象分野

わが国の住宅、都市、土地に関し、経済、社会、法律、歴史、制度、計画およびこれらの複合的視点から、住生活の改善向上をはかるための研究を助成の対象とします。

研究の対象を「外国」とすることはかまいませんが、主題はあくまでも「わが国の住生活の改善向上をはかるための研究」として下さい。

3. 対象者

【一般研究】 大学、その他の研究機関に専任または有期専任の身分で常勤にて在籍し、研究活動に従事している研究者。

【奨励研究】 上記に同じ。ただし、申請時に40歳未満の若手研究者対象。

その他 いずれも次の基準を満たしてください。

1. 申請書提出時および研究実施年度を通じ上記資格が予定されること。
2. 日本に在住する研究者とし、大学院生、専攻科生などは対象としません。
3. 共同研究の場合は、代表研究者が対象者となります。
4. 本助成の既受託者は、原則としてその後2年間は対象としません。

4. 助成額

【 助成の総額 】 総額1,000万円以内

【 1件当りの助成額 】 「一般研究」150万円以内、「奨励研究」80万円以内

5. 応募手続

当協会所定の申請書及び研究計画書に必要事項を記入し、正本1部およびそのコピーによる副本7部を提出して下さい。応募の書類は返却しませんので予めご了承下さい。

Excel [研究助成申請書・研究計画書](#)

PDF [研究助成申請書・研究計画書](#)

【提出期限日】 11月15日(月)必着

6. 申請書の審査

当協会内に設置する審査委員会において審査し、その結果は平成23年3月末までに、全応募者宛に直接通知します。

審査の過程において、申請額を減額することがあります。

[個人情報保護について](#)

7. 助成金の支払い

助成金は平成23年4月および10月にそれぞれ50%を支払います。

8. 研究報告書

- (1) 研究報告書はA4判を縦位置・横書きで使用し、図表などを含め50～80ページ程度にまとめ、パソコンにて片面印刷で作成して下さい。
なお、研究報告書にはA4判1ページ以内の要旨および要旨の英文を添付して下さい。
- (2) 平成24年3月末日までに、正本1部およびそのコピーによる副本1部、会計報告書を提出して下さい。
ただし、研究内容によっては1年の延長を認める場合があります。
- (3) 提出された研究報告書は研究毎に製本し、当該研究者に20部贈呈します。
また、当協会が必要と認めた場合、無償または有償にて頒布する場合があります。

9. 研究成果の公表

研究者が当協会の助成を受けた研究を公表する場合は、当協会の助成を受けた研究である旨を明らかにして下さい。

応募先

財団法人 第一住宅建設協会
〒100-0005
東京都千代田区丸の内3-1-1 国際ビル4階
TEL 03-5221-5826

平成21年度研究助成決定

平成21年度研究対象課題

財団法人 第一住宅建設協会

[一般研究]

(応募受付順・敬称略)

研究課題名

近江環人(コミュニティ・アーキテクト)による地域住宅生産システムの再構築に関する実験的研究

布野 修司(滋賀県立大学環境科学部 教授)他

若年層のライフコースと住宅条件

平山 洋介(神戸大学大学院人間発達環境学研究科 教授)

住環境指標の開発に向けた都市形態の変容把握

窪田 亜矢(東京大学大学院工学系研究科 准教授)

長期経過した超高層分譲集合住宅におけるコミュニティ運営指針の居住者参加型構築

大月 敏雄(東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 准教授)

地中海港湾都市アライアンスの都市再生手法の比較研究

太田 浩史(東京大学生産技術研究所 講師)

ミクロな生活空間における都市温熱環境の実態と市民主体の都市計画によるヒートアイランド対策手法の開発

饗庭 伸(首都大学東京都市環境学部 准教授)他

[奨励研究]

研究課題名

先駆的自治体による認証型保育所の有効性と課題に関する研究 仙台市の「せんだい保育室」を事例として

鈴木 健二(鹿児島大学大学院・理工学研究科 准教授)他

英国国営宝くじ基金による歴史的町並み保全事業に関する研究 観光まちづくりの視点からの分析

岡村 祐(首都大学東京大学院都市環境科学研究科観光科学域 助教)

コミュニケーションプログラムを通じた住環境デザインの方法論に関する研究

佐藤 宏亮(早稲田大学理工学術院 助教)

都市住民による農作物栽培を活かした住宅地内空地のマネジメント手法の提案

栗田 英治((独)農研機構農村工学研究所農村環境部景域整備研究室 主任研究員)他

個人情報保護について

(財)第一住宅建設協会は、個人情報の保護に関する法律など関係法令等を遵守し、個人情報の保護に努めます。

当財団が収集した個人情報は、収集目的の範囲内のみで利用および管理しています。ただし、ご本人が同意されている場合、法令に基づく場合、その他個人情報保護法に基づき提供が認められている場合は、外部に提供する場合があります。

研究助成に応募される方は、共同研究者の氏名記載などにあたっては、共同研究者の意思をご確認下さるようお願いいたします。

研究助成申請書により収集した個人情報は、助成を受けることになった方の名前、肩書きを除き公表することはありません。

▲ページ上部へ

COPYRIGHT(C) 2005 THE DAI-ICHI HOUSING RESEARCH&ADVANCEMENT FOUNDATION. ALL RIGHTS RESERVED.